

Makita

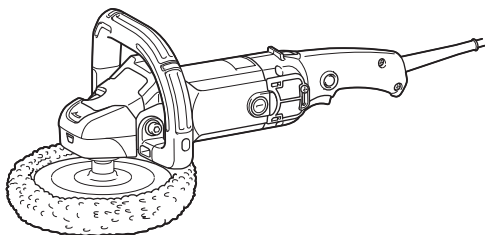
ヒューマンハードウェアのマキタ

人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

180mm サンダポリリッシャ

モデル 9237C



本機はシングル絶縁構造です
で必ず接地（アース）してくだ
さい。マキタ製品は電気用品安全
法に基づく技術上の基準に適合、
または準じて（電気用品安全法適
用外の製品）製造されております。

このたびは180mmサンダポリリッシャを
お買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本機の性能を十分ご理解
の上で、適切な取り扱いと保守をしてい
ただいて、いつまでも安全
に能率よくお使いくださる
ようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。






主要機能

主要機能	モデル	9237C
電動機		直巻整流子電動機
電圧		単相 100 V
電流		10 A
周波数		50-60 Hz
消費電力		950 W
回転数		3,200 min ⁻¹ (回転 / 分)
ウールパッド径		180 mm
全長		431 mm
質量		3.3 kg
振動 3 軸合成値	サンダ	2.5 m/s ²
	ポリッシャ	2.5 m/s ²

- 振動 3 軸合成値は、EN60745-2-3 規格に基づき測定。
- 振動 3 軸合成値についての詳細は JEMA [(社) 日本電機工業会] ウェブサイト : (<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>) をご参照ください。
- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠ 警告

- ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
 - 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - 「電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。
- a) 作業環境
1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
 2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - 電動工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
 3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - 注意が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - 作業者以外、電動工具や電源コードに触れさせないでください。
- b) 電気に関する安全事項
1. 電源コンセントは電動工具の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。接地付きプラグは確実にアースをしてください。
 - 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
 2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアースされているものに身体を接触させないようにしてください。
 - 感電する恐れがあります。
 3. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - 電動工具内部に水が入り、感電する恐れがあります。
 4. 電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - 電源コードを持って電動工具を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、絡まって感電する恐れがあります。
 5. 屋外の使用に適した延長コードを使用してください。
 - 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⚠ 警告

c) 作業者に関する安全事項

1. 「取扱説明書」と「安全上のご注意」をお読みになって、電動工具とその操作を理解した方以外は使用させないでください。
 - ・ 理解せずに使用することは危険です。
2. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
3. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。必要に応じて、防じんマスク、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓（イヤマフ）などを着用してください。
4. 不意な始動は避けてください。
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ 電源コードをつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
5. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して傷害の恐れがあります。
6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
7. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、すべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
8. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

d) 電動工具の使用と手入れ

1. 無理して使用せず作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った負荷で作業してください。
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。

⚠ 警告

2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。
 3. 電動工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
 - ・ 本機の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ その他危険が予想される作業
 4. 使用しない電動工具は、きちんと保管してください。
 - ・ 子供の手の届かない安全な所、乾燥した場所で鍵のかかる所に保管してください。
 5. 電動工具の保守点検をしてください。
 - ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
 7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
 8. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。
- e) 整備
1. 電動工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本機を分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・ 電源コードに深い傷や変形がある。
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感ずる。
- ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。
- #### 2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
- #### 3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)
- #### 4. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
- ・ 感電の恐れがあります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

サンダポリリッシャ安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、サンダポリリッシャとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB086-2

⚠ 警告

1. 必ず接地（アース）してください。
 - ・ 故障や漏電のとき、感電する原因になります。
 - ・ 接地は、プラグの横から出ているアースクリップをアース線に接続してください。
 - ・ 3ピンプラグ（アースピン可倒式）の場合は、電源コンセントに合わせて、接地（アース）してください。
 - ・ アース付（3ピン）電源コンセントの場合
3ピンプラグを電源コンセントに差し込んでください。（アースクリップによる接地（アース）は不要）
 - ・ 2極電源コンセントの場合
アースクリップをアース線に接続してください。
 - ・ アースクリップやアースピン、アース線に異常がないか確認してください。
 - ・ テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アースピンと本機の金属（外郭部）間の導通を確認してください。
 - ・ アース棒やアース板を地中に埋め込み、アース線を接続するような電気工事は、電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店に相談してください。
 - ・ 接地と共に感電防止用漏電しゃ断器の設置された電源に、接続されますことをおすすめします。
 - ・ 漏電しゃ断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条
2. アース線をガス管に接続しないでください。
 - ・ 爆発の恐れがあります。
3. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・ アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
4. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因になります。
5. 本機で砥石を使用した研削や切断、またワイヤブラシを使用した研磨などの作業を行わないでください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。
6. 指定の先端工具以外は使用しないでください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。
7. 先端工具は、最大許容回転数が銘板に表示してある本機の最高回転数以上のものを使用してください。
 - ・ 破損して飛び散るなど、事故やけがの原因になります。
8. 指定の先端工具を使用してください。
 - ・ 制御不能になるなど、事故やけがの原因になります。

⚠ 警告

9. 先端工具の取り付け穴径は、本機のスピンドルに適切に取り付けができるものを使用してください。
 - ・ 振動により制御不能になるなど、事故やけがの原因になります。
10. 作業前に先端工具にヒビ、割れ、破れ、過剰な摩耗などの異常がないことを確認してから使用してください。また、落とした場合は損傷がないか点検するとともに、最高無負荷回転数で1分間ほど運転して異常がないか確認してください。
 - ・ 異常があると、事故やけがの原因になります。
11. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、必要に応じて保護メガネ、防じんマスク、耳栓（イヤマフ）などを使用してください。
12. 作業場所に第三者を近づけないでください。必要な場合は安全防護具を使用させてください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。
13. 先端工具を配線や本機の電源コードに接触させないでください。また、絶縁された部分だけで保持してください。
 - ・ 損傷した配線や電源コードは感電の原因になります。
14. 電源コードは先端工具から離してください。
 - ・ 電源コードの破損、また電源コードが絡まって手や腕などを巻き込み、事故やけがの原因になります。
15. 先端工具の回転が完全に停止するまでは置かないでください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。
16. 本機を身体の横で運転しないでください。
 - ・ 衣類が引っかかり身体を引き込むなど、事故やけがの原因になります。
17. ダストカバーは定期的に取りはずし、空気取り入れ口とともに清掃してください。
 - ・ 溜まった粉じんやゴミが故障の原因になります。
18. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 本機から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
19. 冷却液が必要な先端工具を使用しないでください。
 - ・ 水や冷却液が感電の原因になります。
20. 先端工具がはさまったり、引っかかると強い反発力（キックバック）が生じることがあります。キックバックはけがの原因になるため、下記の項目を守ってください。
 - ・ 本機をしっかりと保持し、不意のキックバックに備えてください。
 - ・ 補助ハンドルが付属している場合は、必ず取り付けてください。
 - ・ 先端工具の近くに手を置かないでください。
 - ・ 本機が進む領域に身体を置かないでください。
 - ・ コーナーや鋭い角の作業時はキックバックが生じやすいため注意してください。
 - ・ 刃（歯）の付いた先端工具を使用しないでください。
21. 使用中は、本機を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、本機が振られ、けがの原因になります。

警告

- 22.材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
 - ・ 不安定な状態での作業は、けがの原因になります。
- 23.材料を手にとっての研磨はしないでください。
 - ・ けがの原因になります。
- 24.本機を万力などで保持した使い方はしないでください。
 - ・ 不意の接触などで、けがの原因になります。
- 25.使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、事故やけがの原因になります。
- 26.材料に、釘や砂などの異物がないことを作業前に十分確かめてください。
 - ・ 事故の原因になります。

⚠ 注意

1. サンディングディスクや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実に取り付けないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. スイッチを切った後も、惰性で回転している先端工具に注意してください。
 - ・ 手などが触れると、けがの原因になります。
3. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ・ 材料や本機などを落としたときなど、事故やけがの原因になります。
4. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
5. 使用中は、本機の底面に手など身体を近づけないでください。
 - ・ 先端工具に触れ、けがの原因になります。

注

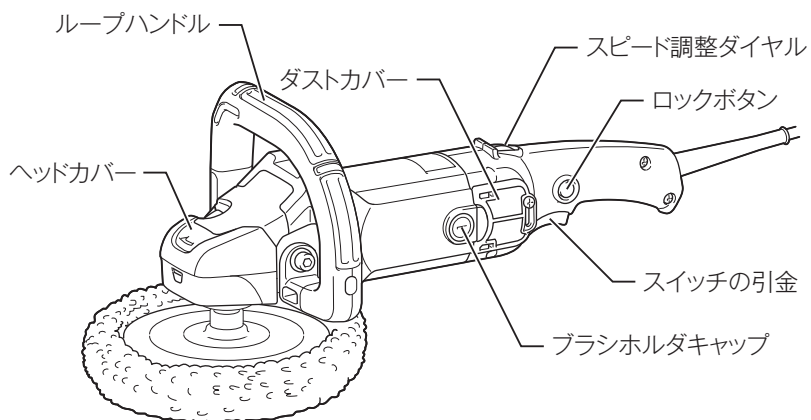
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・六角棒レンチ
- ・ボルト (2本)
- ・スリーブ 18
- ・ウールパッド 180
- ・ループハンドル

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、もしくは当社営業所へお問い合わせください。
- ・ サンディングディスク

粒度	部品番号	梱包数
16	A-23771	10
20	A-23787	
24	A-23793	
30	A-23802	
50	A-23818	
80	A-23824	
100	A-23830	
120	A-23846	

- ・ ウールパッド 180 セット品
部品番号 A- 25498
- ・ グリップ 36
部品番号 152490-4
- ・ ラバーパッド 170
部品番号 743012-7
- ・ ロックナットレンチ 28
部品番号 782412-6
- ・ ロックナット 16-48
部品番号 224523-6
- ・ スパナ 17
部品番号 781008-0
- ・ ヘッドカバーセット品
部品番号 193769-4

使い方

ループハンドルの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

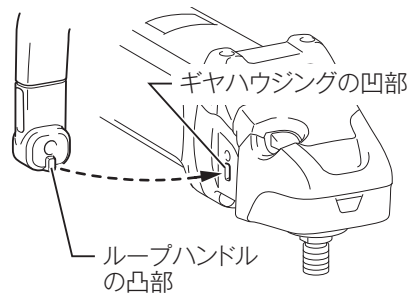
ループハンドルの取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

・ ループハンドルは必ず取り付けて両手で確実に保持して作業してください。

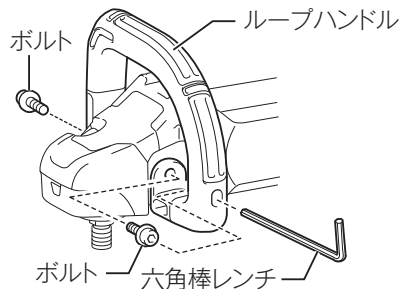
取り付け方

1. ループハンドルの凸部をギヤハウジングの凹部に合わせて取り付けます。



2. ループハンドルの穴部にボルト（2本）を取り付け、六角棒レンチでしっかり締め付けます。

・ ループハンドルは2方向に取り付けができます。作業にあった方向にしっかりと取り付けてご使用ください。



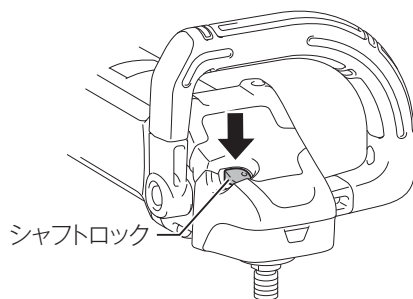
取りはずし方

・ 取り付け方の逆の要領で取りはずします。

使い方

シャフトロックの操作

- ・ ウールパッドなどの付属品を取り付け、取りはずす際に使用します。シャフトロックを押し込み、シャフトの回り止めをしてください。



注

- ・ 回転させたままシャフトロックを押さないでください。
- ・ 故障の原因になります。

使い方

ウールパッドの取り付け・取りはずし方

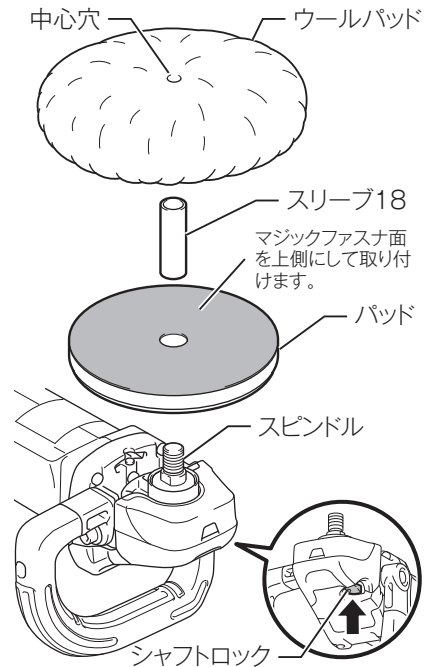
⚠ 警告

ウールパッドの取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

取り付け方

1. パッドのマジックファスナ面のゴミ・ほこりなどを、よく払い落します。
2. シャフトロックを押さえながらスピンドルにパッドを締め付けます。
3. スリーブ 18 をパッドの中心にはめ込みます。
4. ウールパッドの中心穴をスリーブ 18 に通し、パッドのマジックファスナ面に取り付けます。
5. スリーブ 18 を取りはずします。



注

- ・ スリーブ 18 はウールパッドを取り付ける際の位置決めにご使用ください。

取りはずし方

1. ウールパッドをパッドから取りはずします。
2. シャフトロックを押さえながらパッドをゆるめてはずします。

使い方

スイッチの操作

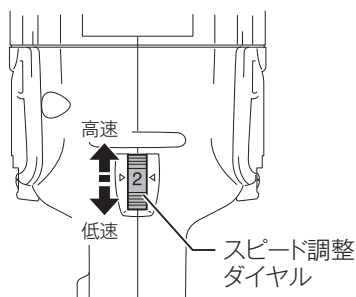
⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。
- ・ スイッチは引金を引くと入り離すと切れます。
- ・ スイッチは引金の引き加減によりお望みの回転数が得られます。
- ・ スイッチの引金をいっぱい引いてからロックボタンを押し込むと、引金を離しても引金が固定され連続運転します。
- ・ 停止させるにはもう一度引金を引いてロックボタンが戻ってから、引金を離してください。

スピード調整ダイヤルの操作

- ・ スピード調整ダイヤルを回すことにより、スイッチの引金をいっぱい引いたときの回転数が毎分 600 ~ 3,200 回転の間で自由に変えられます。
- ・ スピード調整ダイヤルを「6」側に回すと高速回転、「1」側に回すと低速回転になります。



- ・ スピード調整ダイヤルの 1 ~ 6 の数値間の回転数の目安は右表のとおりです。

スピード調整ダイヤルの数値	回転数 min ⁻¹ (回転/分)
1	600
⋮	⋮
2	900
⋮	⋮
3	1,500
⋮	⋮
4	2,100
⋮	⋮
5	2,700
⋮	⋮
6	3,200

使い方

注

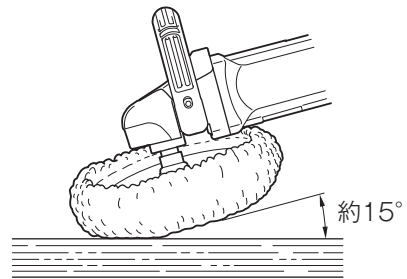
- ・ 低回転で長い時間の連続作業を行いますと、モータに無理がかかり焼損の原因になります。
- ・ スピード調整ダイヤルは 1 より下には回りません。また 6 より上にも回りません。無理に回しますと故障の原因になりますので、スピード調整ダイヤルは必ず、1 → 2 → 3 … 6、6 → 5 → 4 … 1 の範囲で回してください。

研磨方法

⚠ 警告

作業するときは保護メガネまたはフェイスシールドをご使用ください。

- ・ スイッチの引金を引き、スピード調整ダイヤルを回して作業に適した回転数にしてから作業を行ってください。
- ・ ウールパッドは、全面を加工面に当てないで、約 15° くらい傾けた状態でご使用ください。



注

- ・ パッドはウールパッド専用です。

別販売品の使い方

サンディングディスクの取り付け・取りはずし方

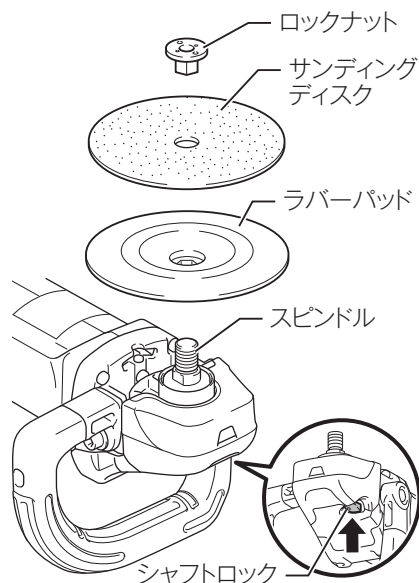
⚠ 警告

サンディングディスクの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

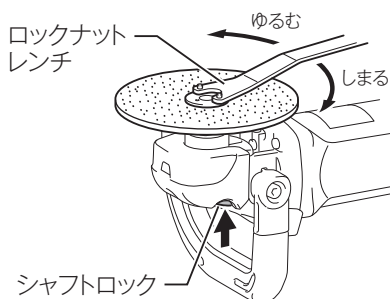
取り付け方

1. スピンドルに、ラバーパッド→サンディングディスク→ロックナットの順に取り付けます。
2. シャフトロックを押さえながら、ロックナットをロックナットレンチでしっかりと締め付けます。



取りはずし方

- ・ 取り付け方の逆の要領で取りはずします。



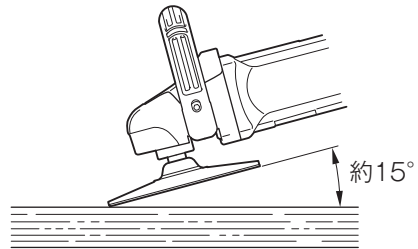
別販売品の使い方

サンディングディスクの研削方法

⚠ 注意

作業するときは保護メガネまたはフェイスシールドをご使用ください。

- ・ サンディングディスクは全面を被研削面に当てないで、約 15° ぐらい傾けた状態でご使用ください。



グリップ 36 の取り付け・取りはずし方

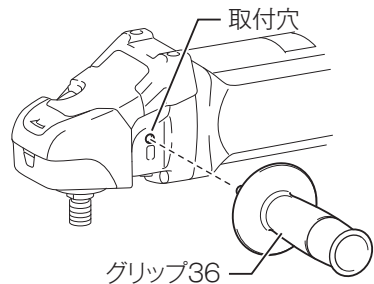
⚠ 警告

グリップ 36 の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと事故の原因になります。

取り付け方

1. ループハンドルをはずします。
(14 ページ参照)
2. グリップ 36 を本機の取付穴にしっかりと締め付けます。
 - ・ グリップ 36 は 2 方向に取り付けができます。作業にあった方向にしっかりと取り付けてご使用ください。



取りはずし方

- ・ 取り付け方の逆の要領で取りはずします。

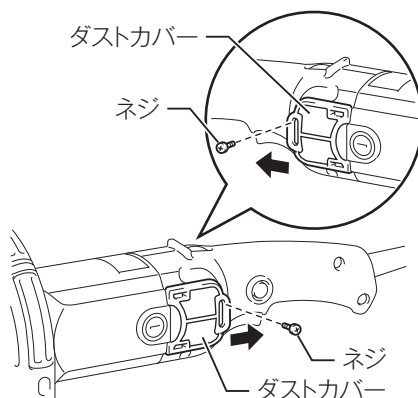
⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

ダストカバーの取りはずし・取り付け方および清掃の方法

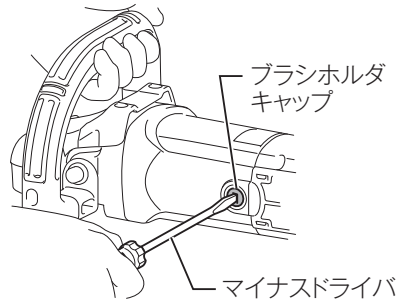
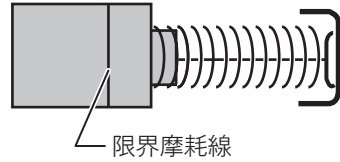
- ・ ダストカバーは2か所とも清掃してください。
1. ダストカバーを取り付けているネジをはずし、矢印方向にスライドさせて取りはずします。
 2. ダストカバーの内側と本機のスリット部分に付着しているゴミなどを取り除きます。
 3. 取りはずし方の逆の要領で取り付けます。



保守・点検について

カーボンブラシの点検

- ・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。
 - ・ カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。
 - ・ 新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
1. マイナスドライバでブラシホルダキャップをはずします。
 2. 摩耗したカーボンブラシを取り出し、新しいカーボンブラシと交換します。
 3. ブラシホルダキャップを取り付けます。
 - ・ カーボンブラシは2個で1組です。必ず両側とも同時に交換してください。



本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

882856-1
NNP

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)